

試料・情報利用研究計画書(概要)				
研究番号	2024-1018	利用形態	共同研究	
研究題目	循環器疾患におけるゲノム医療推進のための 全国規模プラットフォームの構築		研究期間	2024年9月 ～ 2035年3月
主たる研究機関	国立循環器病研究センター	責任者 氏名・職	朝野 仁裕	部長
分担研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	責任者 氏名・職	大根田 絹子	教授
分担研究機関	大阪大学	責任者 氏名・職	坂田 泰史	
分担研究機関	奈良県立医科大学	責任者 氏名・職	彦惣 俊吾	
分担研究機関	国立精神・神経医療研究センター神経研究所	責任者 氏名・職	西野 一三	
分担研究機関	北里大学病院	責任者 氏名・職	飯田 祐一郎	
分担研究機関	三重大学医学部附属病院	責任者 氏名・職	岡本 隆二	
分担研究機関	富山大学附属病院	責任者 氏名・職	廣野 恵一	
分担研究機関	金沢大学附属病院	責任者 氏名・職	吉田 昌平	
分担研究機関	名古屋大学医学部附属病院	責任者 氏名・職	奥村 貴裕	
分担研究機関	鳥取大学	責任者 氏名・職	山本 一博	
分担研究機関	香川大学	責任者 氏名・職	南野 哲男	
分担研究機関	高知大学	責任者 氏名・職	久保 亨	
分担研究機関	佐賀大学医学部附属病院	責任者 氏名・職	野出 孝一	
分担研究機関	長崎大学	責任者 氏名・職	前村 浩二	
分担研究機関	鹿児島大学	責任者 氏名・職	大石 充	
分担研究機関	熊本大学病院	責任者 氏名・職	辻田 賢一	
分担研究機関	札幌医科大学	責任者 氏名・職	神津 英至	
分担研究機関	大阪急性期・総合医療センター	責任者 氏名・職	川崎 真佐登	
分担研究機関	愛媛大学	責任者 氏名・職	山口 修	
分担研究機関	岡山大学病院	責任者 氏名・職	湯浅 慎介	
分担研究機関	国立国際医療研究センター	責任者 氏名・職	石田 あかね	
分担研究機関	琉球大学	責任者 氏名・職	當間 裕一郎	
分担研究機関	九州大学	責任者 氏名・職	松島 将士	
研究目的と意義	コホート参加者の方のゲノム解析情報から、遺伝性循環器疾患の原因となる遺伝子の特徴(バリエント)の頻度や疾患発症との関連を調べます。遺伝性循環器疾患になりやすいバリエントについて調べることで、そのバリエントを持っている方に対して、遺伝性循環器疾患の診断や早期発見、重症化の予防などができるようにするために行います。			
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク計画で収集したゲノム情報(約54,000人分)の中から、遺伝性循環器疾患の原因となる遺伝子のバリエントの有無を電子的に探索します。バリエントが検出された場合には健康調査情報から、循環器疾患の可能性を検討します。なお、この研究で分かった遺伝性循環器疾患になりやすいバリエントの情報は、遺伝性循環器疾患を発症した患者さんの情報と合わせて確認したり、どのように診断や予防に活かしていくのかを検討したりする必要があります。そのため、この研究で遺伝性循環器疾患になりやすいバリエントを持っている方にゲノム情報をお知らせすることはありません。			

利用試料・情報	対象:東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホートあるいは三世代コホートに参加された方(約54,000人) 試料:なし 情報:基本情報(性別・年齢)、調査票情報、検体検査情報、生理学検査情報、特定健康診査情報、全ゲノム解析情報
期待される成果	コホートに参加された方と、遺伝性循環器疾患の患者さんのゲノム解析情報を比較解析することで、遺伝性循環器疾患の原因となる遺伝子のバリエントがどのくらい強く循環器疾患の発症に関係しているのかを正しく知ることができます。将来的には、本研究の結果をもとにして、遺伝性循環器疾患の早期発見・治療や、重症化予防などの医療が進むことが期待されます。
倫理審査等の経過	2024年7月 国立循環器病研究センター研究倫理審査委員会
倫理面、セキュリティ面の配慮	本研究で得られたバリエントの頻度、遺伝性循環器疾患の原因となる可能性があるバリエント持つ個人の基本情報(性別・年齢)、調査票情報、検体検査情報、生理学検査情報を、個人が特定できないよう個人情報を加工したうえで、共同研究機関である国立循環器病研究センターに提供します。東北大学東北メディカル・メガバンク機構において個人情報が加工された情報のみを用いるため、提供する情報には、個人が特定できる情報は含まれません。
その他特記事項	この研究は国立循環器病研究センター循環器病研究開発費により実施します。
	*公開日 2024年10月4日